

平成 22 年度施設改善実績報告のまとめ

技術安全委員会

1. 施設改善・改修の促進

施設改善実績報告は、アンケート形式で任意に報告してもらった会員の施設改善実績を集約整理し、全体の概況をまとめて報告するものである。当協会の業務形態は、基本的に個人単位で営まれる関係上、予防保全の内容は表に出難く、詳細まで窺い知ることは困難だが、統計的にあらわれた改善・改修項目の多寡から、他の会員の力点の置き所が把握できる。これを参考にすることで会員各自の予防保全業務の質的向上を図っていただきたい。

2. 施設改善件数の年度比較

22年度を含め過去5年間の施設改善件数実績は、表1のようになっている（改善項目は20年度以降追加あり）。

3. 改善件数の推移

施設の改善・改修は、高度な技術や多額な経費を伴う場合もあるが、草取りや清掃、周囲の環境整備と言った地道なものまで幅広くある。電気管理技術者は、施設の実態に応じ、それぞれの工夫を加えて改善・改修を実施していくことが必要である。

表1 過去5年間の施設改善実績

項目	改善内容	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
1	高圧ケーブルを取り替えた	271	384	587	606	625
2	PAS、PGSを新設、取替えた（DGR 含む）	651	768	859	827	843
3	UGSを新設、取替えた	318	372	429	518	569
4	ピラーディスクコンをモールド型に取替えた	41	38	40	32	51
5	LBSを更新した	616	783	801	840	853
6	遮断器を更新した（OCB、VCB 他）	228	289	446	423	472
7	VT、CTの取替えまたは撤去をした	393	415	271	267	256
8	OCRの取替えをした	233	259	277	272	289
9	GRの更新またはZCTの位置を変更した	307	283	337	332	301
10	雷害防止の為にアレスタ設置または更新した	141	131	154	102	133
11	クリートまたは母線の支持碍子化、絶縁電線化の改善をした	268	259	246	238	212
12	PCSの取替えまたはヒューズを改善した	273	349	285	240	277
13	トランスの改修（増設、減設、更新）をした	999	992	864	664	601
14	絶縁油の交換または酸化防止剤を入れた	792	774	732	711	646
15	高圧コンデンサ・リアクトルの更新、PFの取付け、高調波対策をした	227	234	266	251	320
16	小動物侵入防止を実施した	1,301	1,498	1,502	1,553	1,551
17	電気室・キュービクルへの植物・つる草類の侵入防止または伐採をした	6,879	7,962	7,406	6,736	7,284
18	構内工事施工時の管理技術者への連絡義務化を徹底した	1,954	1,886	1,787	2,239	2,904
19	暴風雨・雪による電気設備への悪影響防止対策を実施した	689	860	654	659	548
20	ナイフスイッチ・ブレーカなどおよび電磁開閉器等を改修した	1,763	2,032	1,787	1,693	1,549
21	低圧幹線の改修（過熱・緩み絶縁・不良等）をした	1,955	2,048	1,695	1,675	1,527
22	コンセント回路を改修（絶縁不良・破損）をした	2,437	2,492	1,975	1,874	1,748
23	キュービクルの更新をした	0	0	344	285	304
24	キュービクル他環境整備（塗装、排水改善、昇降階段等安全改善）をした	0	0	0	893	874
25	その他	0	0	0	512	519
	合計	22,744	25,121	23,744	24,442	25,256

図1は、低圧・環境関係の過去5年間の改善件数を示す。「電気室・キュービクルへの植物・つる草類の侵入防止または伐採」が圧倒的に多い。次いで「構内工事施工時の管理技術者への連絡義務化を徹底」が多いが、これが昨年・一昨年に比べ増加していることに着目されたい。

図2（次頁）は、高圧関係の過去5年間の改善件数を示すグラフ。高圧関係では、変圧器の改修とその絶縁油交換が、大きな割合を占めている。PAS、UGSの新設・取替えも目立つが、注目すべきはLBSの更新件数が年々増えていることである。これらは波及事故防止に有効なので、より一層の努力を継続されたい。

4. 支部ごとの取り組み状況

図3（次頁）は、支部ごとのアンケート回答者率と会員一人当たりの施設改善件数をグラフ化したものである。支部別に会員の施設改善に対する関心度や取り組み状況がここから汲み取れるが、その評価や今後の対策については支部ごとにおこなっていただきたい。

昨年に比べ回答者率が増加した支部が目立つ。たとえ改善した施設がなくてもアンケート用紙は提出することになっているので、回答者率の低い支部は、その旨を周知徹底していただきたい。

（文責 千葉支部 鈞 裕之）

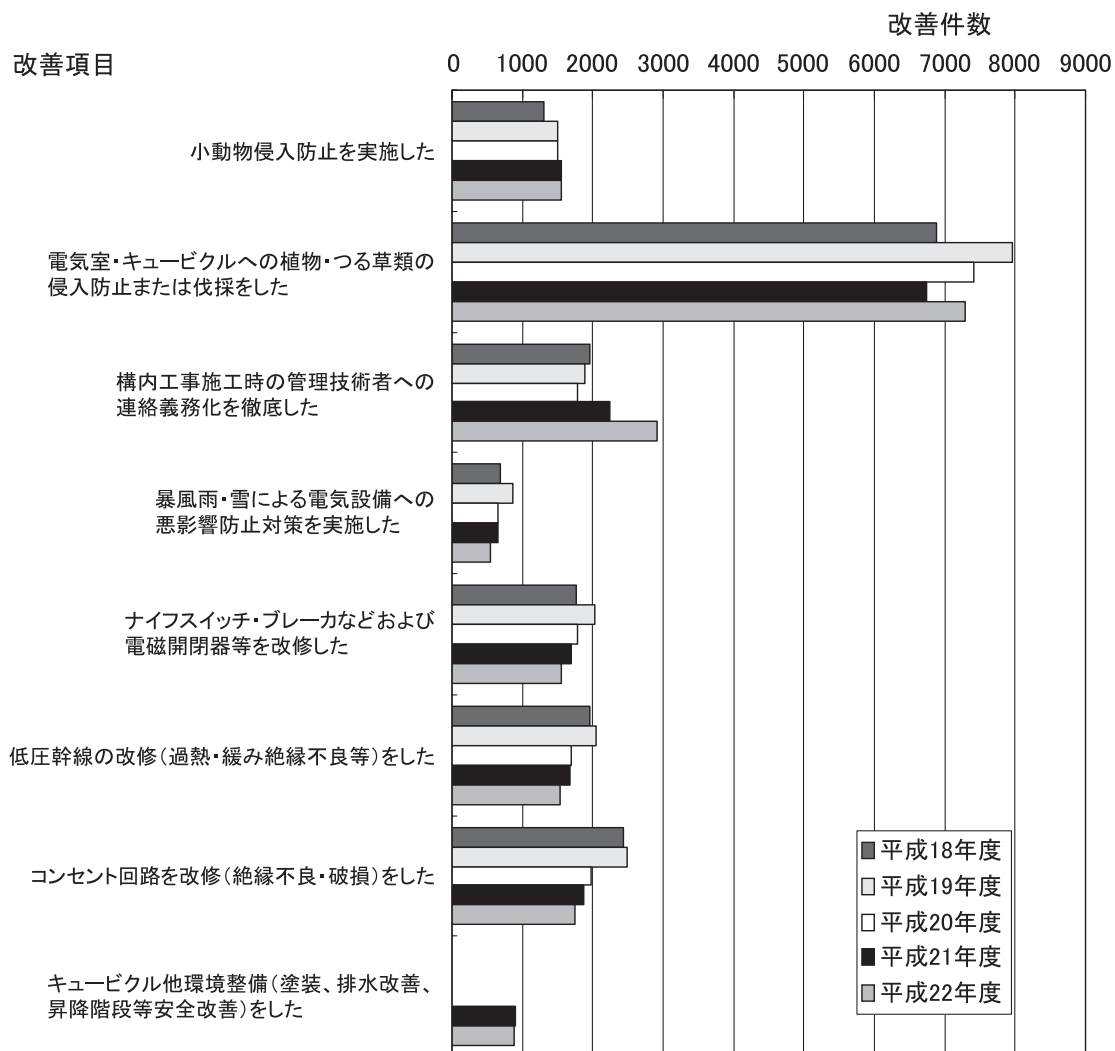


図1 低圧・環境関係の過去5年間の改善件数

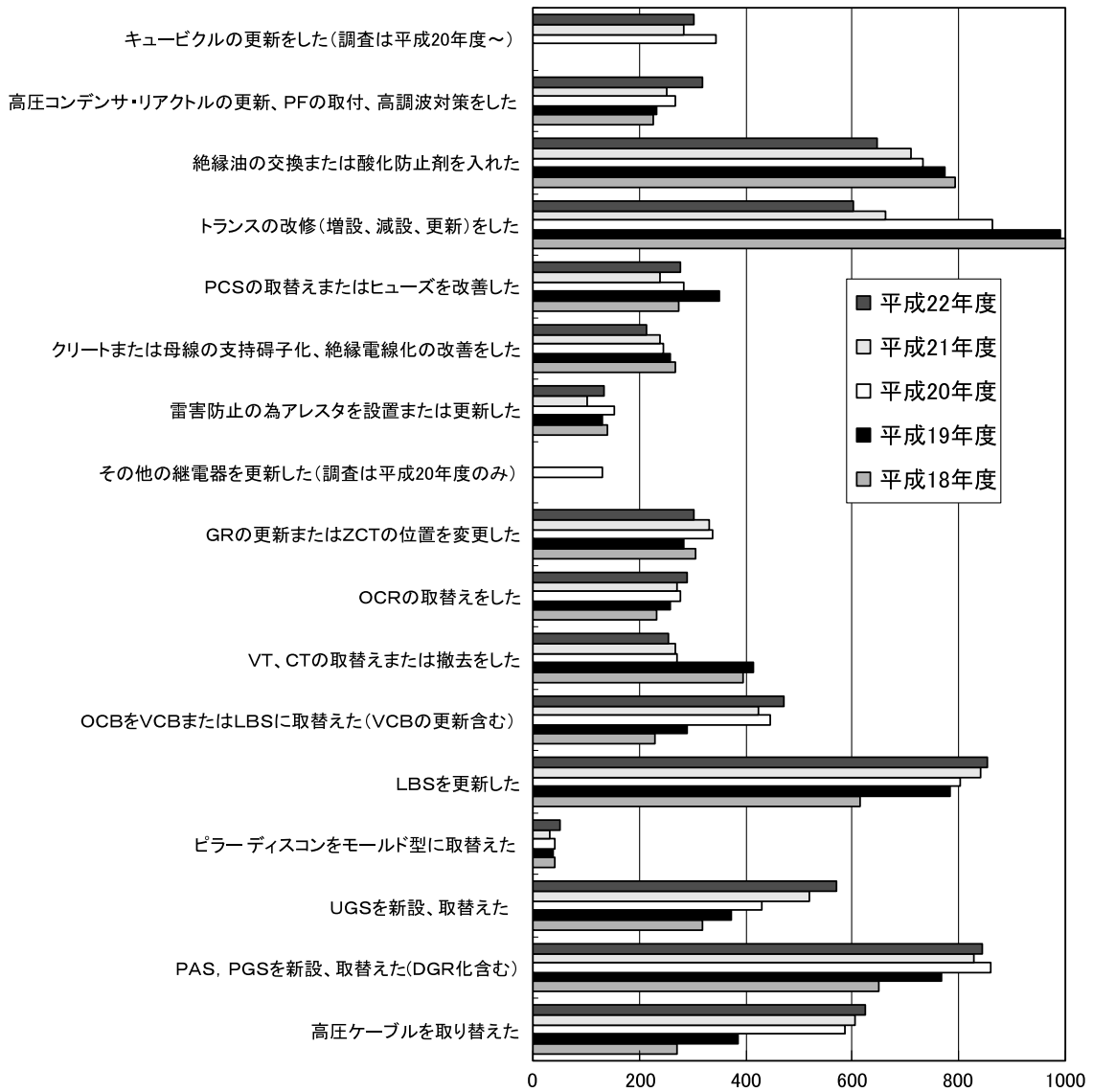


図2 高圧関係の過去5年間の改善件数

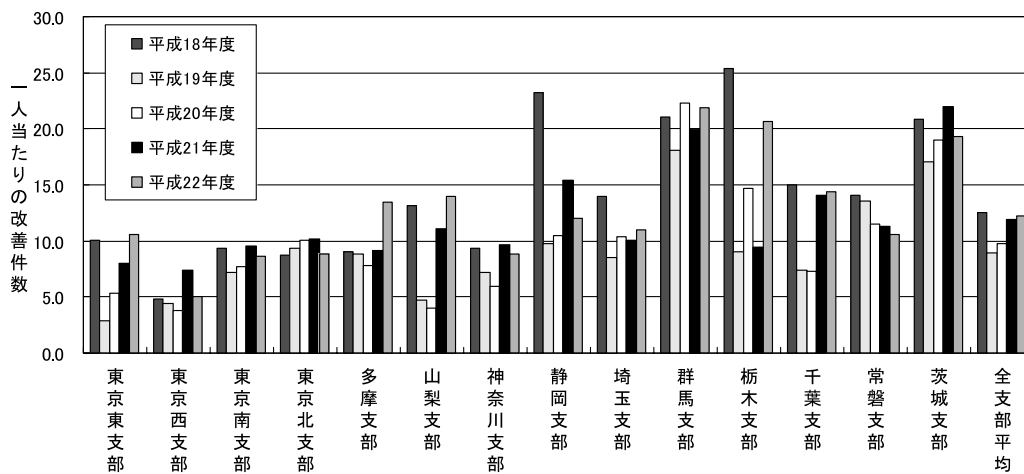
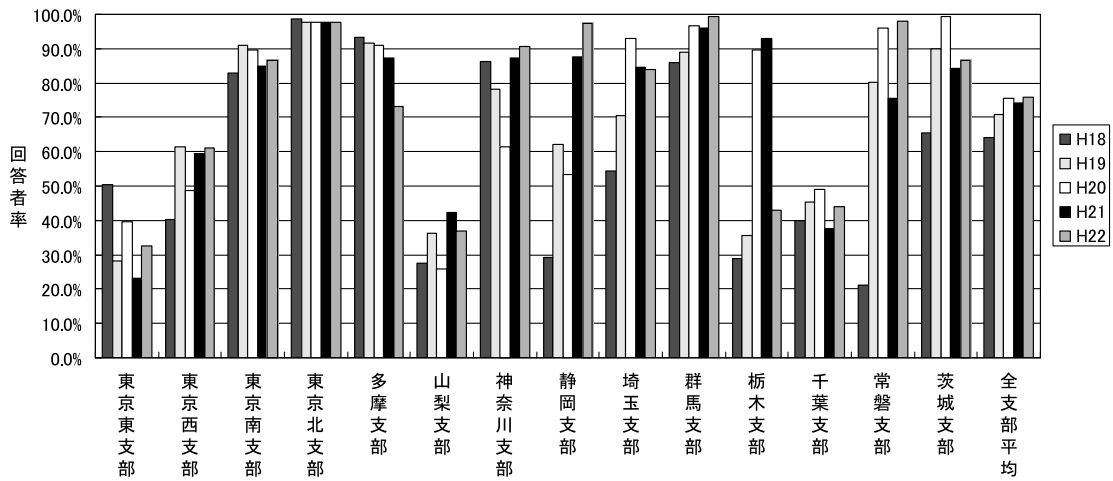


図3 支部ごとの回答者率 (上) と会員一人あたりの施設改善件数 (下)